

令和 8 年

第 1 回教育委員会会議録

(開会 令和 8 年 1 月 22 日)

(閉会 令和 8 年 1 月 22 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和8年1月22日午後2時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

瀬川登美子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

説明のために出席した者

水野伸治君（事務局長）

奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）

木村雄大君（教育総務課総務係長）

青木裕介君（教育研究所指導主事）

後藤道広君（学校給食センター所長）

石黒智子君（教育研究所主任指導主事）

古野 寿君（学校教育課指導主事）

只腰知子君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 教育長報告

3 教育委員報告

4 議 事

①報告第1号 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について（原案承認）

②議案第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

5 各課所管事項

6 委員からの提案協議事項

7 その他

8 閉 会

開会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** では、これから令和8年第1回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりお願いします。

教育長報告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、教育長報告でございますが、本日は成人式1点に絞って、その中で2つお話をさせていただきたいなと思っています。

皆さんも成人式にお忙しい中、参加をしていただきましたので本当にありがとうございます。それぞれ感じられたことがあるかと思っておりますので、また後の報告でも触れていただけるとありがたいです。

私からは成人式について2つです。

1つ目は、当日配付されていると思いますが、記念冊子です。成人式の記念冊子の中で、私はいつも寄稿を求められてお祝いの言葉をつづらせてもらっていますが、もし読んでくださっているということであれば重ねてのお話になってしまいますけれども、事務局の方々もいらっしゃいますので、そのお祝いの言葉に込めた思いのようなものも加えながらお伝えをしたいと思います。

何を書かせていただいたかということ、もちろんおめでとうございますと成人の自覚を持って頑張るねの旨を伝えたくはありますが、その中で去年の夏、可児市文化創造センター a 1 a で行われたコンサートに触れました。a 1 a で「歌、故郷に寄せて」と題したコンサートが開かれたんですね、去年の夏。それはどんなコンサートだったかというと、可児市在住、可児市で生まれて活躍しておられる方、可児市由来の方々に集まっていたいて、人とまちを音楽でつなぐというようなことをできないかというような志でつくられたグループがあります。「奏響（そら）」という名前のグループなんですけれども、そのグループの第1回目のコンサートでした。

私は、お誘いを受けてそのコンサートを聞かせていただいたんですが、本当に素晴らしいコンサートで感動したんですけれども、このグループの中心として活躍されている女性、これは可児市出身のソプラノ歌手で、長年イタリアで演奏活動をされている方でした。今回の帰国は、その奏響（そら）というグループ結成の初コンサートが主な目的でした。外国で演奏活動を続けながら、母国でも仲間と共に一生懸命そうやって演奏をやろうというバイタリティーに本当に心を引かれたわけですが、加えて、そのコンサートの冒頭、ソプラノ歌手であるその彼女が、この初コンサートへの熱い思いを語っておられました。

まずそのネーミングなんだけれど、奏響（そら）というのは、奏響の「そ」は奏でる、演奏の「奏」、「ら」は響き、響くという字で、それで「奏響（そら）」なんですけれども、同じ場所に集い、人々が集って音楽を奏でて、その響きがまち全体に広がっていくというグループのネーミングにはそんな願いが込められているんだという熱い語りでした。

加えて、非常に印象に残っているのが、こんなことを言っておられた。私は、このまちで暮らし、多くの地域の人たちや先生たちとの出会いの中で、人を信じる心を学びましたと言っておられました。人とまちを音楽でつなぐことを志す彼女たちを支えているものは、人を信じる心なんだなということで、演奏もすばらしかったんですが、その冒頭の語りが今も非常に心に残っています。

そんな例を、その挨拶、お祝いの言葉の中でつづりながら、成人の方々にお伝えをしたかったことは、ふるさとが育んでくれるものっていろいろありますよねと。この方は、彼女は人を信じる心ということなんだけど、だからこの成人式、成人を祝う会を節目に、自分のふるさと可児が自分に育んでくれたものは何だろうかと思詰めてみてはどうでしょうかという投げかけがしたかった。

先ほどから申し上げている、ソプラノ歌手の彼女は、ふるさとのいろいろな人たち、先生や仲間や地域の方や親やいろいろな人たちと小学校・中学校・高等学校のときに触れ合う、関わる中で人を信じる心を学んだと言っているのです、やっぱりその地域でのいろいろな、可児市でいろいろな方々との交わり、関わりの中で、きっと皆さんにも、成人の方々にも育まれたものがあるんじゃないのという思いで書いた。それが人それぞれ違うと思うので、何だろうかということを見詰めてほしいということと、そしてその育まれたものが基盤となって志や目標が持てている彼女を思うときに、きっと皆さん、成人の皆さん、成人となった皆さんにも育まれたものが基盤となって目標や志があるとしたら、本当に教育長としてこんなうれしいことはないということも書かせていただきました。

ふるさと教育とか、キャリア教育とかいう部分の分野のすばらしい事例かなということは思っていますが、成人式に際して、そんな思いを持っていたということをお伝えをしたかった。これが1つ目です。

2つ目ですが、いつも成人式するときには市長挨拶に始まり、御来賓が話をされるということなんだけど、そのほかにももちろん成人の代表の語りがあったり、いろいろあるんですね。アトラクションというか、そういったいわゆる成人を祝うという会の後にアトラクション的なものがありますよね。いつも成人の実行委員の人たちが中心となって、それぞれの中学校の先生たちに依頼をして、その中学校の先生が成人に向けてのメッセージを語る動画が最近ずっと大変好評で続いています。

この間も、ずっと見てくださって、それぞれの先生が登場すると大騒ぎになったり、おーっという歓声が湧いたりということで、楽しい時間だったと思うのだけど、その中で、中部中学校のことで、これは手前みそになってしまうんですけど、非常に印象に残ったので、これも紹介をしたいと思います。

中部中学校恩師からのメッセージは、こんなメッセージでした。今、君たち、つまり中部中学校の卒業生ですね。今、君たちに問う。「あたたかい かかわり」その先にあったものは何なのかというようなメッセージでした。非常に直球というか、ある面、ほかの中学校とは違って堅い感じもあるのかなといった出だしでした。そういった出だしがあって、それぞれの恩師の語りがあって、終わったんですけど、うれしかったのは、「あたたかい かかわり」その先にあったものは何なのか、これを今君たちに聞きたいと当時の恩師は言ってくさっていた。

これは、令和元年と2年に私が校長をやらせてもらっていた令和2年の卒業生なんです、この間の子たちは。そのときに、この「あたたかい かかわり」というのは、生徒たちが当時大切にしていた言葉を僕が拾い上げて、それを学校経営のキーワードにして、いろんなところで「あたたかい かかわり」ということを視点にして様々な活動をつくり出したり、子供たちの活動を価値づけてきたり、ちょうど今僕が「笑顔の“もと”」のことを言っているのと同じように、事あるごとに「あたたかい かかわり」というのを子供たちに問いかけてきた。

そのときに、「あたたかい かかわり」というと、イメージすると関わりですよ。なので、授業中の「あたたかい かかわり」とか、生徒会での「あたたかい かかわり」だとか、地域でのボランティア活動での「あたたかい かかわり」とかということの子供たちは頑張っていて、本当に自分たちの文化として、本当に主体的にやっている姿はすばらしかったんですね。

僕がそのときに何を子供たちに問いかけていたかということ、特に3年生かな、「あたたかい かかわり」のその先にあるものは何だろうと。この3年間「あたたかい かかわり」ということで一生懸命頑張っているよねと。じゃあ卒業後、大人になったときに、その「あたたかい かかわり」は何に結びつくんだろうかと。今この3年間だけのことなの、みんな。その先にあるものってあるのということ問いかけて、つまり「あたたかい かかわり」の値打ちを、自分たちがこうやって積極的に仲間と関わり合ったり、地域の人と関わり合ったりしていくことの値打ちは3年間で終わるのか、いや、そういった体験が卒業後も生かされるとか、さらに生かしていくべきことなのかなんてことを見詰めてほしいと、これもいろいろところで話をしていたんですが、そのキーワード、その先にあるものを見詰めてほしいということを僕が言っていたのをその当時の職員がちゃんと覚えていてくれて、それで成人の集いの式のとくに動画で最初に問いかけ、今、君たちに問うということによってくれたことがとてもうれしかったです。

当時の3年生の職員のほぼ全員があそこに来てくれていました。僕が会場に行ったときに市長など来賓の方々に目が行ってしまって挨拶とかいろいろしていたので、一番手前にいた恩師の方々は後で気がついて申し訳なかったのですが、本当にたくさんいらっしゃって、そのときに「あたたかい かかわり」のその先にあるものは何かといったことを話題にしてくれてありがとうという話をさせてもらいました。手前みそではありませんけれども紹介をさせていただきました。

以上、大きく2点ということですのでよろしくお願いをします。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員報告に入ります。
- 教育委員（梶田知靖君） 改めまして、本年もよろしくお願いいたします。

私も1月11日に成人式へ出席させていただきました。教育長と話が重複してしまう部分がありますけれども、今年度は対象者が998名、出席者はその中で786名ととても華やかな成人式でした。毎年、昨年も思いましたけど、先生方の温かいメッセージのビデオレターを見て本当に驚かされて、いろいろ各学校で創意工夫されて、先生方が登場すると、先ほど教育長が言われたとおり、成人式を迎えた子たちから歓声が一と上がっ

て、本当に子供たちから先生方は何年たっても好かれているんだなというのを強く思いました。雪が降る寒い成人式でしたけれども、本当に心温まる成人式だったと思います。成人式については以上になります。

蘇南中学校の校内教育支援センターについて、ちょっと報告を1点だけ報告させていただきます。校内教育支援センターを利用している生徒が全部で14名だそうですが、先日学校のほうでタコ焼きパーティーをされたそうで、その14名のうち13名参加されて、その後、授業にそれぞれ子供たちが参加されたそうです。

ちょっとここまでのお話しがまだお聞きしていないんですけど、蘇南中学校から温かいニュースが聞こえてきましたので、御報告とさせていただきます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

いろいろ校内教育支援センターでやってくださっていることはありがたいですね。教育支援センター、スマイリングルーム等でやっておられることに学んで校内教育支援センターの活動をやっていただけるといいかなとも思うので、本当に様々な活動を教育支援センター、スマイリングルームがやってくれているので、その活動の具体だとか、なぜその活動をやっているのかというようなことを校内教育支援センターの方々が学んでいただけるとありがたいなと思っています。ありがとうございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** 今年初めてですね。よろしく願いいたします。

私も成人式のほうに参列させていただきました。雪の降る寒い日だったんですけども、やはり成人の皆さんはとても晴れやかな表情で式に呼ばれていまして、市長をはじめとする来賓の方々のお話を皆さん真剣に聞いていただいているなと思いました。

それから成人式実行委員会の皆さんが、毎年そうなんですけれども、今回も進行や出し物をしていらっしゃって、大変会場も盛り上がりながら和やかな雰囲気が進められて、実行委員の方々も頑張ってくださったなと思います。

先生方のビデオレターは今おっしゃってくださったので、省きまして、クイズの出題でモリモリキングの絵が出てきて、それはほとんどの子がモリモリキングと分かったというところが、いや、すごいな、やっぱり学校時代の思い出の中の給食というのは、やっぱり小・中学校の時代の忘れ難い思い出の一つなんだなあということと、モリモリキングのパワーの大きさを実感しました。

○ **教育長（堀部好彦君）** 非常に盛り上がっていましたね。本当に面白い。

○ **教育委員（小栗照代君）** 盛り上がっていましたね。みんなちゃんと知っているんだと思いつつも拝見していました。

それから、小中美術展・特別支援学級作品展に行ってきました。会場の入り口でちょうど教育長にお会いして、にこやかな笑顔でお声がけをさせていただいてありがとうございました。

今年もすごく大変多い作品が展示されていて、教育長からも、こんなに盛大に行っているところはほかにないですよというようなことも教えていただいて、毎年大変楽しみに拝見させていただくんですが、今回も家族連れで楽しそうにお子さんの作品を見ている姿が大変印象的でした。

こういった盛大な展示をしてくださる方々の御努力も大変素晴らしいですし、子供たちの作品を見ていると、教育現場での先生方の御努力やそういった経緯について、すば

らしいなと思いながら見学させていただきました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

作品展については、本当に私、教育研究所の担当の主任をはじめ、担当指導主事の方々を中心にした各校の先生方の御努力のおかげで成り立っているもので、正確な数字はまだ聞いていないんだけど、2日間で2,000人以上が来場してくださった。私もちょうど小栗委員と会って話をしながら、その後作品を見させてもらったのですが、質の高い作品で、それぞれの図工や美術の授業の質の高さを感じるといつも本当にそれを感じるし、今年特に思ったのは、小栗委員も言っておられたけど、親さんが子供さんと一緒に見ているんだけど、それを失礼かなと思いながら、何をしゃべっているんだろうと思って聞き耳を立てていると、作品のよさについて話し合っている。本当に。鑑賞の授業みたいな、この作品のこれってどう思うとか、これって本当にすごいよねということ、自分の子が出ているところなんかは一緒に写真を撮ったりなんかしていたんだけど、そういうこと、そういうレベルとはまた違って、鑑賞をしてよさを味わっているというのを親子の会話で聞くのが、一つ二つじゃなくて結構聞こえてきて、すごいなと思いました。

中には、小学校の低学年の男の子と思われる子と、その妹と思われる子、幼稚園の年中か年長さんぐらいで、お父さんもいて、その幼稚園の幼児と思われる子に、小学校行ったらこういうことやるのかなと、その子に話しかけながら、こんな作品作りがあるんだよということを知らせるようなこともあって、本当にすばらしいと思って、ぜひ作品展は続けてやってほしいなと思っています。ありがとうございました。

○ **教育委員（長井知子君）** 本年もよろしく願いいたします。

私も成人式に出席してきました。その中で印象に残ったのは、給食で好きなものは何ですかというクイズがあって、人気だったのがやっぱりプリンタルトで。

○ **教育長（堀部好彦君）** それをよく覚えていますね。

○ **教育委員（長井知子君）** うちの娘も、大学生の。プリンタルトが大好きで、大学生になった今でも食べたいと言うので、やっぱり根強い人気があるんだなと思いました。

あと先日、広見小学校にお伺いさせていただきました。いつも校長先生が案内してくださるんですけども、校内教育支援センターのほうなんですけど、毎回思うんですけども、子供たちがすごく生き生きしていて、元気で、だけどやっぱり何らかの何かがあって教室にいられなかったりするのかなとは思いましたが、すごく空間が温かい空間で、子供たちも先生をすごく信頼している感じだったので、すごくいい環境なんだろうなと思いました。

どこでもそうだと思うんですけども、時間割があって、子供たちが、今日は、この時間はこれならできる、これをするというのを自分で考えてホワイトボードに書いて生活しているんですけど校長がおっしゃられていて、自己決定ができる、するというのは、いずれ大人になったときには自己決定の連続で、小さい頃から自己決定ができるというのはすごく将来を考えたときにいいなというのを思いました。

あとそのほかは、前に教育長が言われていたんですけど、広見小学校の教頭先生が子供たちのいいところをお昼の放送で流していると校長先生からもお聞きしました。お伺いしたときにも教頭先生がいろいろなところに本当に出向いていて、校庭から、それ

こそ校内教育支援センターからいろいろなところを歩いていて、校長先生も褒められていたんですけども、私がPTAをやっていた10年ぐらい前は、教頭先生というと本当に疲れ切ったイメージしかない。いろいろな問題が教頭先生のところに来て、保護者の方からのトラブルとかも、大変だなというのを思っていたんですけども、実際今も大変だと思うんですけども、広見小学校の教頭がすごく生き生きと仕事をされていて、いろいろな子供たちの写真を撮って廊下に新聞を貼っていたり、そういうのもすごいなと、お忙しいのにすごいなと思いました。

最後、帰りがけに校長先生からもう一人紹介したい人がいるんだよと言われて、支援学級に70代の現役の女性の先生がいらっしゃって、子供たちと関わって仕事をするのが本当に楽しいんだと言われていました。最近思うんですけど、自分の仕事が好きなんですということを断言できるってすごいことだなと思っていたので、ああ、ここにもいらっしゃったかと思って、すごいなと思って帰ってきました。

いつも思うんですけども、先生って、すごく心がきれいで真っすぐで、ニュースでもいろいろなことが流れますけれども、可児市内の先生とお会いするといつもそれを思うので、毎回洗われたような気持ちで帰ってきています。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

大変爽やかなお話で、きっとそういったいろいろな先生方のすばらしさを思う気持ちは、校長はじめ、広見小学校の先生方に伝わっているんじゃないかと思います。

まず校内教育支援センターについてなんですけれども、今センターを設置させていただいている学校、どこの学校も上手にやっていただいて、長井委員が言われたような姿が見られます。これは何でかと言われたときに、自己決定の場があるんだというのは、まさにそのとおりだろうなということを思うとともに、今のままの自分でいいんだと。教室に入れない自分を見詰めるのではなくて、今のままの自分でいいんだとあの子たちが思っている、そこがベースにある笑顔なんじゃないかなと。

なので、これは通常学級の子たちにも通じることなんだけど、「笑顔の“もと”」の一つとして、今のままの自分でいいんだという、これ、今どき大切だなということを思っています。そういった思いを持たせる指導が、いろいろな活動の中で、自己決定のことも大切にされている中で育まれている「笑顔の“もと”」じゃないかと思います。

先生方も、激務の教頭先生とか、70代の先生の「笑顔の“もと”」って何だろうと考えたときに、本当にこれ、その2人の充実感、笑顔につながっているものを見詰めたときに、そういった人間になるように、小学校・中学校で未来の笑顔につながるもとを育んでいこうよと考えるのって、すごく値打ちがあるんじゃないかなと思いますね。本当にじっくり、何となく予想はつくんだけど、こんな気持ちになるんだろうなという推察できることはあるんだけど、じっくりお二人としゃべってみたいなということを思います。ありがとうございます。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** 本年もよろしくお願ひします。

何点が重複してしまうことばかりなんですけれども、成人式も拝見させていただいて、感動的でした。いろいろな面で。式の話は、皆さん多分同じように御覧になっていますので、その後写真撮影のことなんですけれども、そのときの恩師の先生方の表情だとか、教え子の成長をすごくうれしい気持ちで、ああ、あの子誰、こんなになったみた

いなことをずっとお話しされているのがすごく印象的でした。

それから、1月15日にスマイリングルームを見学させていただきました。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうでした、ありがとうございます。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** いえいえ。青木指導主事からも、教育長が餅つき大会にみえたという話もお聞きしまして、私はそのアポを取るときに、普通のふだんの姿が見たいので、何も行事がないときに見学させていただきたいし、職員や支援員からのお話也十分に聞けるかなと思って、そういう日を無理を言って調整させていただきました。

システム的なことだとか、いろいろな資料も見せていただいて、子供たちが自分でいろいろなことを選んで、いろいろなことを学べる環境がすごく整備されているなと思いました。第一には、本当に子供の自主性を大切にしているところがいいところかなと思います。学校へは行きづらいけれども、ここなら来られる。ここへ来たら、いろいろなことをやらなきゃいけないじゃなくて、やりたいものを率先的にできるというところがすごくいいなと。

まず、支援員の方からの言葉もすごい印象的なんですけど、とにかく不登校だとは思えないほど子供たちは笑顔でいっぱい過ごしている。いろいろな原因があるにしろ、まずそこへ来られている時間は、朝でなくても、ちょっと遅れてでもとか、昼からでもとか、そういう選択もできるそうで、言ってみたら大学生活のような面があるかなと思いました。

実際、職員の方の今の現在の困難なこととか改善したいこととかを拾い上げて、模索して、もっと何かよくなるんじゃないかという面も感じられました。ほかの地域に比べるとすごく充実している、学校に行けない子でもこういう場所があるよということなんだそうなんですけれども、きつともっとよくなるんじゃないかなという点がありました。

もう一点、小中美術展・特別支援学級作品展も行かせていただいたんですけど、結構好きなものですから、ついつい行っちゃうんですけど、ちょうどその週に、個人的なことですが、ゴッホ展も行ってきました。そうやって気持ちが高ぶった上での小中美術展だったので、もっと何か内に秘めるものをもっとみたいな感じで、勝手に私が盛り上がって見てきた感じです。

ただ、やっぱり教育長さんがおっしゃられていたように、保護者の方々がお話ししているのがよく聞こえるんですけども、子供に、これは遠近法だよねとか、この細かいところがなかなかできないよねとか、本当にすてきなお話をしていらっしゃいました。

あとは、中学生になると、この作品は自分のこういう気持ちをこのように表現しているよと細かい字でたくさん書いているお子さんがいらっちゃって、やっぱり学年が上になってくると、そういうことも可能なら、ぜひこういう思いでこういう作品がというのがもっと知れると、もっとうれしいなと個人的に思いました。

低学年から高学年にだんだん成長していく段階で、美術って、そんなに大切なものと思われない保護者の方もたくさん見えると思うんですけども、美術という教科の大事さというのが伝わるとすごくいいなと思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

本当にそうですよね。美術展はいろんなことを考えますね。ゴッホ展は僕も行きました。すごい人でしたよね。

- **教育委員（瀨川登美子君）** 私は平日に行ったんです。
- **教育長（堀部好彦君）** そうですか。僕はこの間の土曜日に。
- **教育委員（瀨川登美子君）** そうですか。3時間ぐらいいたら、子供にい過ぎだつて言われました。
- **教育長（堀部好彦君）** すごいですね、3時間。ゴッホの作品と対峙されたわけですね。
- **教育委員（瀨川登美子君）** 大好きなんです。
- **教育長（堀部好彦君）** ゴッホを支えた家族もテーマになっていて。いろいろ考えさせてもらいましたね。

作品に込めた思いとかいうことで、そこにこそ目を向けていきたいというのは私も大賛成で、実は僕はある作品、それこそ同じ気持ちで、ある学校のある生徒の作品をちょっとコピーさせてほしいとその学校にお願いをしているところなんですけど、すごくこの子ってどういう子なんだろうと思っていて、もしまた了承が得られれば、紹介できるというなと思っております。全く同感です。作品、美術というものについての考え方なんですけど。

それと、スマイリングルームについては本当にありがとうございます。積極的に見ていただいて。よりよくするためにという、もっとよくなるんじゃないかということで助言いただくこともとても大切だと思いますので、ぜひよろしくお願いします。ありがとうございます。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入ります。
- **事務局長（水野伸治君）** それでは、改めましてまた本年もよろしくお願ひいたします。

では、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおり、本日は報告が1件、議案が1件でございます。

報告第1号 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について、議案第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上よろしくお願ひいたします。

- **教育長（堀部好彦君）** 本日議事の議案第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の不登校児童生徒の状況について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、意思形成に係る案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

それでは、報告第1号 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加についてを議題とします。

- **学校教育課主任指導主事（奥田晋也君）** では、議案書の1ページを御覧ください。報告第1号 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について。令和8年度に実施される全国学力・学習状況調査の参加について、次のとおり専決処

分したので、これを報告し、承認を求める。令和8年1月22日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和7年12月12日専決、可児市教育長 堀部好彦。

記、令和8年度全国学力・学習状況調査に参加する。

詳細は、教育研究所主任指導主事より説明します。

- **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** では、右上に別紙1となっております別冊を御覧いただきたいと思えます。

1ページの真ん中辺りに3番がございますが、調査の対象です。例年どおり、小学校6年生と中学校3年生の2学年の参加となります。

次に、2ページを御覧ください。

教科に関する調査につきましては、小学校は国語と算数、中学校は国語と数学及び英語です。中学校英語は、ICT端末を用いたオンライン方式で実施します。

中ほど、イにありますように、教科に関する調査と併せて質問調査をICT端末を用いて実施します。

調査の実施日ですが、3ページの5に示してあります。令和8年4月23日木曜日に行います。ただし、英語及び質問調査は、各学校の希望を踏まえて文部科学省が指定する日に行います。

なお、13ページに当日の時間割モデルが示されています。

そのほかの詳細につきましては、本実施要領を御覧ください。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ございますか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

では、この件について承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については承認をいたします。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** では、続いて各課所管事項です。
- **事務局長（水野伸治君）** 本日は特にございません。
- **教育総務課総務係長（木村雄大君）** 令和6年から始めました桜ヶ丘小学校の大規模改修工事ですけれども、今年度末、完工の予定となっております。来月には、工事関係者の方々を迎えて感謝の会が開かれるという話がありましたので、少しお知らせをさせていただくとともに、中身の詳細が分かれば、また来月以降報告させていただければと思います。

2つ目ですが、小規模特認校、先月少し報告をさせてもらいましたが、面談が昨年のうちに終わりました、先週に通知をそれぞれに送らせていただきました。来月には学校説明会があると思えますので、4月に元気に登校していただければと思っております。

最後に、教育委員の視察研修ですけれども、現在段取りをかけている最中です。また日程調整の御連絡をさせていただくことになると思いますので、よろしくお願いします。以上です。

○ **学校教育課主任指導主事（奥田晋也君）** よろしく申し上げます。

前回の会議以降の学校の様子についてお伝えします。

まずはインフルエンザについてです。12月末で一度落ち着いた状況になっておりましたが、1月中旬になってきて再度学級閉鎖が出てきています。感染拡大につながらないよう配慮することを伝えているところです。

その他には、年末年始については児童・生徒に関して大きなけがや事故等の報告は聞いておりません。

各学校は、本年度を振り返りながら次年度に向けた準備をしていく時期となります。卒業、進級・進学に向けてスムーズに年度末や年度初めが迎えられるよう見守っていきます。

次に、昨日の1月21日には可児市教育実践論文審査会がありました。本年度は29名の応募がありました。優秀賞5点、新人賞1点、優良賞6点が選出され、優秀賞の中から3点は岐阜大学の論文審査に進みます。教科教育や特別支援教育、総合的な学習をテーマにしたものなど様々な分野にまたがる論文でした。この取組は教員の資質向上にもつながり、キャリアを積み上げる意味でもとても重要な取組だと捉えています。教職員の頑張っている姿の一つとして報告させていただきます。なお、表彰式は3月3日火曜日16時から予定しております。

続きまして、可児市の外国籍児童・生徒の現状について御報告いたします。

令和8年1月1日現在、市内の児童・生徒総数は7,736人、そのうち外国籍児童・生徒は931人となっております。割合にいたしますと12%です。この数値は、前年比・前月比ともに増加しております。この931人の中で、611人の児童・生徒が学校生活を送る上で日本語指導を必要としている状況にあります。

次に、学校別の状況について御報告します。

特に外国籍児童・生徒の割合が高い学校は、小学校では土田小学校が32.7%、中学校では蘇南中学校が21.2%です。市内全域を見渡しますと、外国籍児童・生徒が多く集まる地域がある一方で、少数で点在している散在地域もございます。教育委員会としましては、集住地域における支援体制の充実はもとより、散在地域においても一人一人の子供が学習や生活面で孤立することのないよう、きめ細かな指導と支援を継続しております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** それでは、教育研究所よりの資料を御覧ください。

主に2点お伝えします。

1 ページ、研究・研修についてです。

経験年数に応じた研修の報告書提出の時期になっています。基礎形成研修、6年目研修、中堅研修、新規常勤講師研修について、各自の成果と課題を明らかにして今後も自己研さんしてまいります。

2 ページの 2 番、教育実習についてです。

次年度も記載されている大学の実習生を受け入れます。教職の魅力を感じてもらえるよう、実施していきたいと思っております。

3 番、特別支援教育育成会の今後の動き、そして 4 番、ふるさと教育出前授業で、市長さんによる授業、市議会による授業の様子を紹介を載せておりますので、御覧いただければと思います。

続きまして、5 番の学校評価について私より話をさせていただきますので、別とじの令和 7 年度教育評価のまとめを御覧ください。

表紙を含めて 3 枚目を御覧いただけますでしょうか。

質問項目ごとの可児市全体の平均の昨年度比となります。これを基にして、教育評価の分析をお伝えします。

本年度の学校評価における市全体の総合平均は 4 点満点中 3.45 となり、昨年度とほぼ同様の値となりました。

初めに、本年度の成果として評価が高かった項目と、昨年度と比較して評価が大きく伸びた項目についてお伝えします。

評価が高かった項目は、質問番号 1 番、「子どもの命を守る」と 31 番、個人情報の保護でした。「子どもの命を守る」は可児市の教育の根底です。その項目が市平均で 3.95 という全項目中、最も高い評価を得ました。個人情報の保護も含め、教職員が安全な生活のために危機管理意識を高く持って教育活動を行っていることが分かります。

昨年度と比較して評価が大きく伸びた項目については、2 点述べます。

1 点目は、質問番号 17 番、積極的な I C T 機器の活用です。昨年度比でプラス 0.18 と全項目の中で最大の伸びを示しました。これは、今年度の G I G A 端末の更新が単なる端末配備ではなく、教員の授業改善への意欲と結びついた成果と考えています。

2 点目は、質問番号 29 番、長時間勤務や多忙化解消に向けての取組です。昨年度比プラス 0.09 という有意な改善が見られました。教職員が心身ともに健康な状態で子供たちと向き合う時間を十分に確保できる環境を整備することは、教育の質の向上に直接つながります。この改善傾向をさらに加速させていくことが大切と考えます。

次に、課題についてです。

質問番号 24 番、学校の教育環境については昨年度からマイナス 0.1、そして質問番号 11 番の合理的配慮に関する項目においても評価の低下が見られたことは、インクルーシブな教育環境の実現に向けた取組について再度確認する必要があります。

以上が可児市の教育評価の分析となります。各校で評価分析及び来年度の教育課程編成に生かすことをお願いしております。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校給食センター所長（後藤道広君）** 給食センターからは 1 点連絡させていただきます。

昨年 2 月にありました自民・公明・維新による三党合意におきまして、令和 8 年度から小学校の給食の無償化を実施するとされ検討が進められてきた件につきまして、昨年度末によりやく方向性が示されまして、文部科学省からも文書が出されましたので、お知らせさせていただきます。

お手元に配らせていただきました資料を御覧ください。

令和8年度の文科省の予算資料になります。まだ国会は予算通過していませんが、このような内容で話が進んでおります。「学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）」という見出しになってはいますが、いわゆるとされているのは、文科省いわく、完全な学校給食費の無償化を連想させてしまうけれど、そうじゃなくて、保護者の負担軽減を通じて子育て支援に取り組む自治体を支援する政策ですと言っています。国が給食の費用を全部持つわけではないということです。

資料を上から順に説明しますと、交付金の流れとしまして国から都道府県を經由して市町村に交付されます。交付される支援額の計算としましては、公立小学校の在籍児童数に基準額を掛けて、11か月を掛けたものとしています。

中段、右のほうに基準額という表がありますがけれども、可児市が該当するのは、表中で、小学校で完全給食の5,200円ということになります。基準額の考え方としましては、令和5年度に行われました学校給食費調査で出されております給食材料費の全国平均月額に近年の物価動向を加味して設定されたものになっています。また、基準額を超える部分、交付金では足りない部分については、学校給食法に基づいて引き続き保護者からの徴収が可能であるとされています。

可児市としましては、前回の教育委員会会議と同じ日に、同じ時刻に市長の記者会見が行われておりまして、新聞で見られた委員も見えるかもしれませんが、そこで市長から、国の基準額で不足する部分について公費で補填して保護者の負担をなくし、小学校給食費の完全無償化を実現すると発表しています。詳しい内容につきましては、今後文科省のほうで決定されていくということで連絡を受けておりますが、今のところこういった内容で進んでおりますので、報告させていただきます。

給食センターのほうからは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、各課から話がありましたが、御質問、御意見はございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございました。

委員からの提案協議事項

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題とします。

何かありますでしょうか。
よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

その他

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、次にその他に行きます。
次回の日程等です。

○ **教育総務課総務係長（木村雄大君）** 次回の会議日程についてになります。

2月20日金曜日、午前9時30分からということをお願いいたします。場所はここ、市役所4階第3会議室で行う予定にしております。

3月につきましては、定例会のほかに臨時会も予定されております。3月3日火曜日、午後の13時45分から、こちらは教育長室で行うこととなりますので、お間違いのないようをお願いいたします。

なお、定例会につきましては調整中ですので、よろしくをお願いいたします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、今の件についてもよろしくをお願いいたします。このまま続けさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

これより会議を非公開とします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午後3時34分